

好生館だより

K O S E I K A N
D A Y O R I

2018.4

Vol. 38



地方独立行政法人 佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>

[メッセージ]

理事長あいさつ、館長あいさつ……………1

[好生館ニュース]

平成29年度全国自治体病院協議会
佐賀県支部総会及び研修会を開催 他
……………2

[診療科の紹介]

脳神経内科、脳神経外科……………3

乳腺外科、精神科……………4

看護部だより……………5

MEセンターの紹介、栄養管理部だより、
薬剤部だより……………6

患者・家族総合支援部だより……………7

医療支援部の紹介、事務部だより、
ライフサイエンス研究所だより……………8

新任医師の紹介……………9・10

外来医師一覧表……………11



写真：
新理事長 桐野 高明

Message

—メッセージ—



理事 桐野 高明
きりの たか あき

Profile

昭和21年7月唐津市生まれ。昭和47年東京大学医学部卒。専門は脳神経外科学。

【略歴】 米国へ留学後、平成4年東大大学院医学系研究科脳神経外科学教授に就任。平成11年同研究科長・医学部長、平成15年東大副学長、平成16年同理事兼任。平成18年より国立国際医療センター研究所長、同総長、(独)国立病院機構理事長を務めた。

【著書】 「医療の選択」(岩波新書)他

理事長あいさつ 就任にあたって

昨年発表された野村総研のレポートでは、佐賀市は日本の中で最も暮らしやすい都市の一つと評価されています。なぜこのように暮らしやすい所で、人口減少や少子高齢化が進むのか、それはどのようにして克服できるのかが今後の大きな課題でしょう。暮らしやすい社会を作っていくのは、我々の最大の目標です。そのためには安全安心の社会であることがまず重要であり、医療が充実し、安心して医療を受けられることがその必須の条件です。佐賀市が暮らしやすいと評価された理由の一つには、好生館をはじめとして、佐賀の医療関係者のご努力による所が大きいと思います。好生館がこれからも発展し、最新の医学と医療を提供し、優秀な人材を育てていくことは、佐賀県が住みやすいところであり、発展していくためにきわめて重要です。

「好生の徳は民心にあまねし」、そして「学問なくして名医になるは覚束なきことなり」という好生館の理念は創設の頃に先人によって残され、時を越えて今に引き継がれています。ヒューマニズムと科学主義によって運営していくことを好生館の基本理念としてきた、と現代的なことばに置き換えることができるでしょう。好生館はその基本理念にもとづいて運営されて、これまでも極めて優れた医療機関としての評価を受け、県民の皆様からも信頼されてきました。

私は平成30年4月より理事長に就任することになりました。好生館がこれからもその役割を果たし、発展していきますように、そして県民の皆様のご期待にお応えできるよう力を尽くしていく所存です。

館長あいさつ

新年度を迎え、気持ちも新たに桐野理事長のリーダーシップの下、職員一丸となって好生館の責務を遂行してまいりたいと思っております。本年度の病院運営の基本方針は、(1)医療安全の推進、(2)感染制御の推進、(3)職場環境の改善、(4)人材育成、(5)地域医療連携の推進です。昨年度の基本方針であった(1)～(4)に本年度は(5)を加えました。地域医療連携の推進は、高度急性期及び急性期医療機関の役割として、きわめて重要です。好生館では、この役割を十分に果たすべく、新年度より入退院支援センターを新たに設置致しました。当センターは、入院患者一人一人の状況をより早くから把握し安心して診療を受けていただけるように、入院前、入院中、退院後の生活やかかりつけ医の紹介などを多職種連携により支援します。まず2～3診療科の入院患者の方々から開始し、できるだけ早く全診療科に拡げたいと思っております。当センターの活動により患者サービスの質の向上とともに高度急性期および急性期医療機関としての機能の充実を図りますので、引き続き皆様のご理解とご協力、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



館長 児玉 謙次



平成29年度全国自治体病院協議会佐賀県支部総会及び研修会を開催しました

副事務部長
小野 潔

2月2日(金)に当館多目的ホールにおいて、標記総会及び研修会を開催しました。総会には、佐賀県支部の会員である7病院長の院長及び事務長等20名が出席しました。

開会后、中川原理事長、兒玉佐賀県支部長が挨拶を行い、平成29年度歳入歳出予算や平成30年度の地方会議の共通議題について審議、各病院が抱える課題等を中心に議論や情報交換が行われました。

総会終了後に開催された研修会では、関東労災病院の小西先生から「医療者の働き方改革 ～俯瞰的に見る医療と診療現場の将来」と題して講演をいただきました。



講演は、図やグラフ等を用いられわかりやすく、また館内外から約100名が参加し、たいへん充実した研修会となりました。



地域医療従事者研修会を開催しました

地域医療連携センター
副看護師長 園田 美佐枝

2月5日(月)に「チームアプローチで挑む摂食嚥下リハビリテーションー藤田保健衛生大学病院での取り組み 看護の立場から」と題して、藤田保健衛生大学病院の看護長・三鬼達人先生に講演して頂きました。降雪で足元の悪い中、101名の方が参加されました。チームアプローチで挑むということで、管理栄養士や歯科衛生士、薬剤師など、いろんな職種の方が熱心に聴講されました。講演終了後にももっと教えてもらいたいと講師の先生に質問される参加者もおられ、充実した研修になりました。



脳死下臓器提供シミュレーションを開催しました

総務課 庶務係
中山 佳郎

3月2日(金)、29年度2回目となる脳死下臓器提供シミュレーションを開催しました。今回は多目的ホールや応接会議室に救命救急センター等の場所の設定を行い、19名の職員が担当の役を熱心に演じました。また、各場面で臓器移植コーディネーターからスライド写真等により具体的な説明があり、脳死下臓器提供についてより理解が深まったと感じました。なお、反省会で多くの意見があり、今後、マニュアルに反映させていきたいと思えます。



第26回好生館医学会総会を開催しました

好生館医学会準備委員長
(医療安全管理部部長) 内藤 光三

3月10日(土)、当院多目的ホールにて第26回好生館医学会総会を開催しました。一般演題24題、海外渡航報告5題および中川原理事長による特別講演1と奈良県総合医療センター総長の上田裕一先生による特別講演2で構成された総会は、内容豊富で多くの質問もあり活発な討論の場となりました。また一般演題の中から医学会会長賞に、医療秘書の横山直美さんが発表した「佐賀県内と好生館の医師事務作業補助者の現状と課題」が選ばれました。来年度は少し形を変えた好生館医学会となる予定ですが、院外からも自由に参加できますので宜しくお願いいたします。



平成30年度新規採用職員辞令交付式

事務部長
松田 篤郎

平成30年度の新規採用職員に対する辞令交付式を、4月2日(月)に多目的ホールで行いました。今回の辞令交付式で、医師66名(臨床研修医26名を含む)、看護師49名、臨床検査技師等コメディカル20名及び事務職員等26名の総勢161名が歴史ある好生館職員となりました。今後は、新職員研修や現場での諸先輩方の指導等により一日も早く好生館の職員として、県民の健康の増進に寄与できるよう努力していただきたいと思えます。



脳神経
内科

神経疾患の克服を目指して



脳神経内科部長 高島 洋

日本神経学会神経内科専門医・指導医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
日本認知症学会認定専門医・指導医
認知症サポート医
日本内科学会認定内科医・指導医
総合内科専門医

当科が診療している主な疾患は、脳血管障害、てんかん、認知症、頭痛、髄膜炎、脳炎、神経難病などです。その中で入院の多くを占めるのは脳血管障害で、医師と病棟看護師、リハビリ療法士、管理栄養士、薬剤師の多職種でカンファレンスや回診しながらチーム医療を行っています。ところで、神経疾患は治らない病気が多いと言われてきました。しかし最近では、脳梗塞はrt-PA静注療法や血栓回収術により劇的な症状改善が期待できます。また、重症筋無力症、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群も免疫抑制剤・疾患修飾薬の開発により、多くの患者さんが救われるようになってきています。昨年からは当科ではHAL (Hybrid-Assisted Limbs)によるロボットリハビリテーションを神経難病の患者さんに対して始めました。また、高齢社会に伴い認知症の診断をかかりつけの先生方から依頼されることが多くなり、もの忘れ外来を設けて対応しています。ご紹介頂ける場合は予約を取っていただきますようお願いいたします。

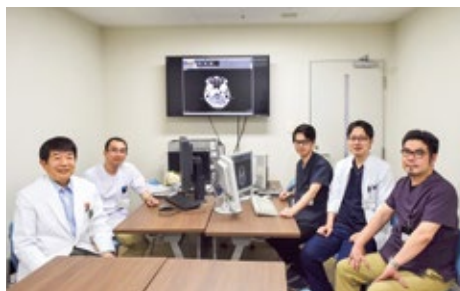


Stroke Care Unit (SCU) リハビリカンファレンス

脳神経
外科

生活の質の向上を目指した脳神経外科医療を

脳神経外科は脳神経系の疾患に対して外科治療を行う専門科です。脳神経系の疾患は病気が治っても麻痺や言語障害などの後遺症が残りやすいので、退院後の生活に支障が出ることが多くなります。そこで、急性期から治癒後の生活の質の向上を目指した医療を行うことが重要になります。最新の画像診断装置を用いた術前の手術シミュレーション、モニタリングやナビゲーションを駆使した手術等により、神経障害によって起こる機能障害を最小限に留めることを目指しています。また、外傷や脳卒中で起こった麻痺や言語障害等をできるだけ少なくするように発症早期から理学療法、作業療法、言語療法を行う急性期リハビリテーションにも力を注いでいます。脳卒中センター、外傷センター、がんセンター等の一員として、専門的知識を持った多職種でのチーム医療を推進することにより、最終的の生活の質を重視した「患者さん中心の医療」を目指しています。



脳神経外科部長 坂田 修治

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

乳腺外科

最新デジタルマンモグラフィが導入されました



乳腺外科部長 白羽根 健吾

日本外科学会認定医・専門医・指導医
日本乳癌学会乳腺専門医・指導医
日本がん治療認定医機構認定医
検診マンモグラフィ読影認定医
日本乳腺超音波診断会議(JABTS)講師
日本乳房オンコプラスティックサージャリー
学会認定 エキスパンダー・インプラント責任医師

マンモグラフィは乳房のX線撮影のことですが、デジタルマンモグラフィとはX線から直接デジタル画像信号へ変換する方式を採用したもので、より低被ばくでありながら高画質なのが特徴です。

乳がん患者さんは年々増加の一途をたどり、現在女性が生涯のうちに乳がんになる割合は欧米諸国では8人に1人、日本は12人に1人です。従って乳がんの早期発見・早期治療の重要性が叫ばれています。デジタルマンモグラフィは初期の小さな乳がんを発見することができる有用な検査です。

【特徴】

☆不安・痛みの低減

最新の装置では乳房圧迫による痛みを最小限にする工夫がなされています。

☆低被ばく・高画質

より体に負担のない線量で高い病変検出能。

☆トモシンセシス機能

CTのような断層画像が得られる最新の画像診断技術です。

☆女性技師が撮影を行います

*当館は乳腺専門医・指導医在籍の日本乳癌学会認定施設です。お気軽にご相談ください。



精神科

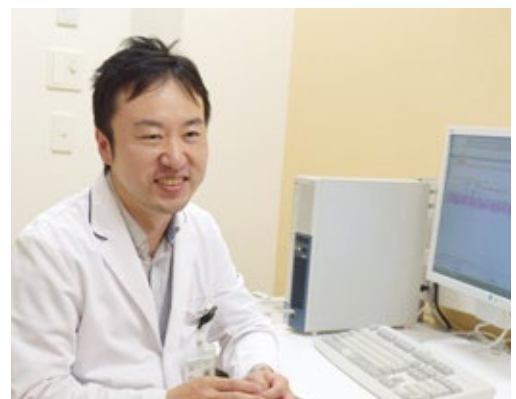
精神科のリエゾンチームとは

当館精神科は、精神科病床を有しておらず、佐賀県で唯一の無床総合病院精神科になります。常勤精神科医2人が所属しており、外来と院内コンサルテーションに加え、緩和ケアチームにも参加しています。

当館には重症度や緊急性の高い患者さんが多く、かつ患者さんの高齢化も進んでいます。入院治療中にせん妄、認知症に伴う興奮がある場合、がんの告知後に不眠、不安、抑うつなどの症状が出る場合、精神科で治療中の方が身体疾患の治療のために入院・転院になった場合、自殺企図で入院された方の精神評価や方向づけなど、精神科が対応する場面は多岐に渡ります。平成29年7月精神科認定看護師の赴任を機に、臨床心理士、薬剤師、精神保健福祉士の多職種から構成される精神科リエゾンチームを発足致しました。リエゾンとはフランス語で「連携」という意味です。少人数のチームならではの機動力を生



かし毎日回診を行い、主治医科と連携しながら、きめ細やかな治療を行っています。当館で身体治療を受ける方の精神的なケアはリエゾンチームにお任せください。



精神科医師 石井 博修

精神保健指定医



母性看護専門看護師の 認定を受けました

このたび、母性看護専門看護師の認定を取得しました。

専門看護師は「高度実践」「相談」「調整」「倫理調整」「教育」「研究」の6つの役割を持ち、所属する施設全体や地域の看護の質の向上

を目指します。母性看護の分野では、周産期母子や女性の健康への援助などの女性や母子に対する専門看護を行います。平成28年度より地域周産期母子医療センターとなった当院において、私がこれまで出会った患者さんから学んだ知識と技術をもって、さらに看護の専門性を追求し、これから出会う患者さんやそのご家族、そして医療スタッフをサポートできるように努力していきますので、よろしくお願いいたします。

5階東病棟
助産師

俵 由里子



子どもたちの笑顔の花が 咲きますように

2017年9月よりボランティア活動を経て病棟保育士として勤務しています。病棟ではプレイルームや病室で、絵本の読み聞かせや折り紙工作など、子どもたちの成長発達や病状に合わせた保育をしています。また、年間行事として、季節を感じながら子どもたちや親子間での交流を図れるよう看護師と協力し、夏祭り・クリスマス会・ハロウィン仮装などの催し物を企画開催しています。日々、入院中の子どもたちや家族のストレスや不安を和らげることができればと思い関わっています。朝、子どもたちと顔を合わせると「今日は何する」とキラキラした笑顔で迎えてくれます。そして、遊びが終わり「楽しかった」という声が聞けると、とても嬉しい気持ちになります。子どもたちの笑顔は宝物です。これからも笑顔の花を咲かせられるよう、子どもたちからの「こんなことしたい」の要望に、可能な限り応えることができる「ドラえもんの四次元ポケット」のような存在になりたいと思っています。

5階西・南病棟
保育士

西津 富紀子



※患者さんの写真は許可をいただいて掲載しています。



人工心肺(心肺補助)症例 1500例超えました!

開心術は、地域開業の先生方のご支援により、循環器科・心臓血管外科開設(1991年1月)し、当時の心臓外科部長榑木先生の執刀で、同年2月の冠動脈バイパス手術症例から始まりました。昨年末まで、心大血管手術時人工心肺症例(1,237例)・経皮的な心肺補助症例(289例)合わせて1,500例を超えました。心大血管手術の人工心肺症例319例(約25.8%)は、緊急・準緊急症例でした。これだけの症例の経験が出来ましたのも、ひとえに、開業の先生方の患者さんご紹介によるものと感謝申し上げます。

先生方のお役に立ちたいと思っておりますので、今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

MEセンター
臨床工学技士長
成田 安志



栄養管理部 だより 泣きながらでも食べたい!です

新玉ねぎがおいしい季節ですね。佐賀県は全国でも有数の玉ねぎ生産県です。

玉ねぎに含まれる辛味成分“硫化アリル”は、①疲労回復にはたらくビタミンB₁の吸収をよくする、②胃の消化液の分泌を高めて食欲を増進させる、③血行をよくするなどの作用があるといわれています。強い殺菌力もあるそうです。

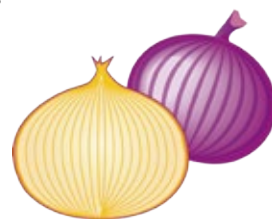
ただ、この成分、残念なことに切った時に涙が出る原因でもあります。涙を防ぐには、よく切れる包丁を使

栄養管理部
管理栄養士
森 千恵子



って繊維に沿って切ったり、換気扇で硫化アリルを吹き飛ばしたり、冷蔵庫で冷やしてから切ると硫化アリルが飛びにくいともいわれています。

どんな料理にも合う玉ねぎです。好生館でも多くの料理に使用しています。いろいろな食べ方で玉ねぎの栄養とおいしさを取り入れましょう。



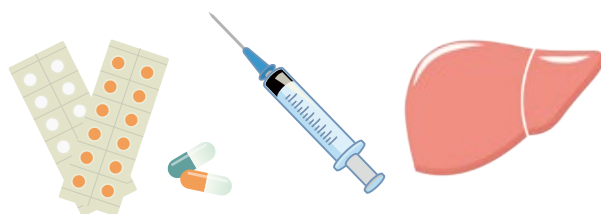
薬剤部 だより B型肝炎再活性化予防に対する 取り組みを開始

最近、新たな薬剤の開発などにより強力な化学療法が行えるようになってきています。この反面、以前にB型肝炎に罹患された患者さんで、化学療法によりB型肝炎ウイルス(HBV)の再活性化が増えてきています。今まで好生館での化学療法前のHBVスクリーニングは主治医の判断により行われてきましたが、今年1月より化学療法を行う前に薬剤師もスクリーニング検査のチェックを行うようになりました。スクリーニング検査が行われていない場合は主治医へ確認を行って

薬剤部
主任薬剤師
黒部 健太郎



います。好生館薬剤部では化学療法によるHBV再活性化による劇症肝炎が生じないように取り組みを行っていきます。

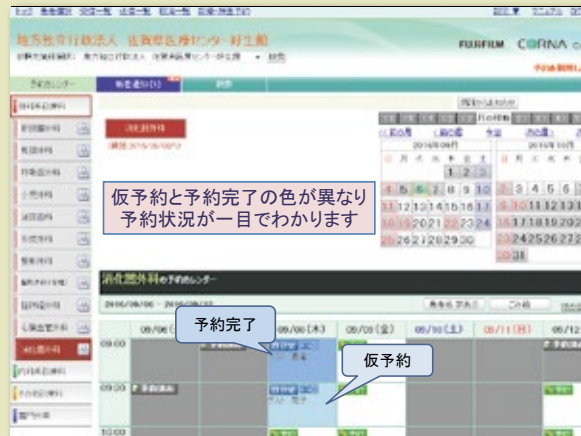
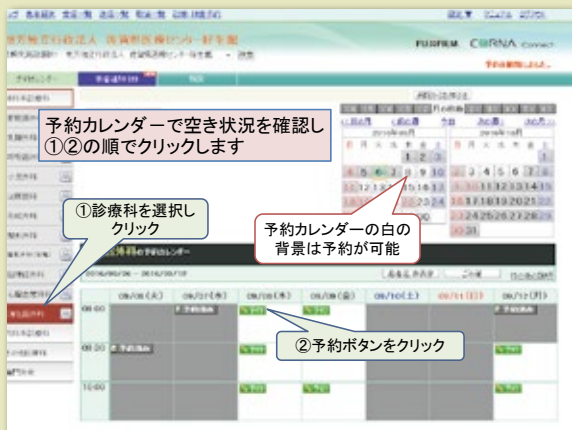


インターネットを利用したオンライン診療予約システム カルナコネクト (C@RNA Connect) について

平成28年4月からカルナコネクトの運用を開始しています。

カルナコネクトは、予約カレンダーが表示され空き状況が即座にわかり、同じ画面から予約をすることができます (6つの専門外来及び23診療科)。

診療の忙しい時には、患者さんがわかる情報 (氏名や生年月日など) のみの入力での仮予約ができ、落ち着いたところで必要な患者情報を入力し、予約を完了することができます。仮予約と予約完了では、色が異なり一目で登録状況がわかります。



24時間いつでもどこでも予約することができます (受診前日の16時まで受け付け可能)。インターネット環境さえあれば、無料でご利用頂けますので、是非カルナコネクトへの登録をお願いします。申し込み用紙は好生館ホームページからダウンロードできますのでよろしくお願いします。

ご契約に関するお問い合わせ先：富士フィルムソフトウェア株式会社

カルナコネクトお客様窓口：TEL045-476-8920 (月曜日～金曜日9:00～18:00)

※電話・FAXによる事前診療時間指定予約も引き続き受け付けております。不明な点があれば地域医療連携センターまでお問い合わせください。

連絡先 地域医療連携センター (TEL:0952-28-1495)



がん相談
支援センター
だより

3月29日「春休みがん予防 ウォッチ」を開催しました

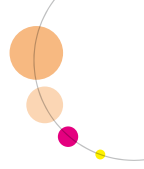
がん相談支援センター
認定がん専門相談員・
社会福祉士・係長
大石 美穂



小学校高学年向けのがんを学ぶ教室は、今年で4回目の開催となりました。稲田小児科部長が、こどもの頃からの成人のがん予防の知識を中心に伝えるなか、小児がんのように予防できないがんもあることを伝え、病気の仲間を理解することの学びにも繋がりました。次に、小児がんサバイバーのクラウンシロップさんが、つらいがん治療を乗り越えた後に偏見やいじめに遭ったときに支えてくれた家族や仲間への感謝を話されました。会場には小学生の他、児童教育をライフワークとする地域の皆様や、患者さん、サバイバー、ボランティア、NPO法人が駆けつけ、35名が共に学び、皆でワークを

楽しみました。参加児童がキラキラ光る眼差しで話しに聞き入り、楽しくワークに取り組むことができたのは、こうした皆様の支えのお陰様です。





知っていますか

お仕事の話

その1 『理学療法士』

その人らしい生活の再構築を支援

理学療法士という名前は知っているも、どのような仕事をする人かの問いには、漠然と「リハビリをする人」と答える方が多いのではないのでしょうか。“座る・立つ・歩くなど基本的な動作の回復を支える専門家”として、身体に障がいを持つ人の社会復帰を支援する役割を担います。英語の頭文字でPTとも呼ばれます。

53年前に法制化されて以来、治療法としての理学療法の幅は年々広がりを見せています。地域における医療と介護の提供や、予防理学療法など、今後さ

らに時代に沿った新しい領域に拡大し、活動していくことが予想されます。



リハビリテーションセンター
主任理学療法士
市丸 勝昭



事務部だより — 総務課 —

外国人患者受入態勢の整備を進めています

現在、総務課では外国人患者受入態勢整備を進めております。平成29年度は、厚生労働省の補助金を活用し、館内の案内板等(サイン)の多言語化、多言語化ツール(タブレット)の導入、職員の名札の多言語化、職員の語学力調査、外国人患者受入マニュアルの作成等を行っております。

平成31年1月には、外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の受診を目指し、更なる体制整備を目指していますので、ご協力をお願いします。

これらの他、総務課では平成29年度では、九州地区自治体病院協議会総会、各種の訓練計画の作成・実施、労働時間管理(労働基準監督署対応を含む)など、対応しています。

副事務部長
小野 潔



ライフサイエンス研究所だより

マンスリーレクチャーを開催しています

好生館ライフサイエンス研究所では、各分野で活躍されている方をお招きして、マンスリーレクチャーを開催しています。

平成29年度は、佐賀大学医学部の門司晃先生をはじめ、九州大学医学研究院 岡田誠司先生、九州大学経済学研究院 永田晃也先生、佐賀大学農学部 北垣浩志先生、小倉記念病院企画広報課 松本卓様にご講演をいただき、臨床医学だけではなくマネジメントや発酵学など、幅広いテーマでの開催となりま

した。

毎回、多くの方々にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。



ライフサイエンス研究所
所長
前 隆男



新任医師の紹介

部長



肝胆膵内科
部長
大座 紀子



眼科
部長
佐々 由季生



形成外科
部長
原田 慶美



消化器外科
医長
山地 康太郎



麻酔科
医長
久我 公美子



病理部
医長
増田 正憲

医長

医師



肝胆膵内科
医師
村山 賢一郎



腎臓内科
医師
松本 圭一郎



産婦人科
医師
神下 優



小児科
医師
荻原 俊



整形外科
医師
馬場 覚



精神科
医師
角南 隆史



循環器内科
医師
本田 修浩

医員



消化器内科
医員
高良 吉迪



消化器内科
医員
島村 拓弥



脳神経内科
医員
上床 希久



脳血管内科
医員
大屋 祐一郎



脳血管内科
医員
橋本 剛



腎臓内科
医員
池田 裕貴



消化器外科
医員
木村 直也



眼科
医員
七條 絵美



産婦人科
医員
大隈 香奈



産婦人科
医員
御厨 紀子



小児科
医員
樋口 直弥



耳鼻いんこう科
医員
川崎 佳奈子



泌尿器科
医員
辻田 次郎



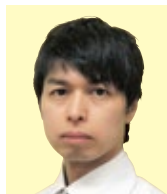
泌尿器科
医員
宮崎 真優



整形外科
医員
岡 和一朗



整形外科
医員
末田 麗真



整形外科
医員
松尾 拓



整形外科
医員
坂本 幸成



整形外科
医員
松永 慶



放射線科
医員
平木 嘉樹



放射線科
医員
田畑 公佑



放射線科

医員
よねくら たかひさ
米倉 卓尚



脳神経外科

医員
ふるかわ たかし
古川 隆



麻酔科

医員
はなしま ゆめほ
花島 夢穂



心臓血管外科

医員
しちじょう まさひで
七條 正英



形成外科

医員
たけうち ちひろ
竹内 千洋



歯科口腔外科

医員
もろくま ふみひで
諸隈 文秀

初期臨床研修医 2年次(7名)



医員
おおいえ さつき
大家 さつき



医員
ごとう ゆうき
後藤 優季



医員
じょうしま こうた
城島 昂太



医員
よしやま だいき
吉山 大貴



医員
いけうち りいちろう
池内 理一郎



医員
うしくさ じゅん
牛草 淳



医員
いまじま たかし
今嶋 堯志

初期臨床研修医 1年次(19名)



医員
くりはやし ゆりえ
栗林 佑理恵



医員
ふるかわ しゅんすけ
古川 舜理



医員
やまぐち よしき
山口 修輝



医員
こうじ あずさ
小路 梓



医員
かわぞえ ゆか
川添 夕佳



医員
こもり ひろき
古森 広輝



医員
かめい かずき
亀井 一輝



医員
びとう だいすけ
尾藤 大輔



医員
まえやま はじめ
前山 元



医員
おち あや
越智 彩



医員
くわはら ゆうき
桑原 雄紀



医員
すえつく のぞみ
末次 希



医員
まつお あきのぶ
松尾 彰信



医員
ふじき かずや
藤木 和也



医員
やまざと ゆかこ
山里 優香子



医員
あき はら けんいちろう
浅原 健一郎



医員
つむら しょうた
津村 星汰



医員
ひが あやか
比嘉 理圭



医員
やべ けいし
矢部 恵士



外来医師一覽表

(平成30年4月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171（おかけ間違いのないようお気をつけ下さい）
 診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。（受付時間は8時30分～11時）土・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休診です。
 なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	池田 園子 松石 英城	松石 英城 池田 園子	池田 園子 松石 英城	松石 英城 —	池田 園子 松石 英城
	呼吸器内科	新患 再来	担当医 久保田 未央	担当医 加藤 剛	休 診 岩永 健太郎/ 小宮 奈津子	担当医 加藤 剛	担当医 岩永 健太郎
	肝胆膵内科	新患	中下 俊哉/村山 賢一郎	古賀 風太	中下 俊哉/大座 紀子	大座 紀子/村山 賢一郎	古賀 風太/野下 祥太郎
	消化器内科	新患 再来	島村 拓弥 富永 直之	富永 直之 緒方 伸一	富永 直之 —	鶴田 紗奈江 富永 直之 (午前)	高良 吉迪 島村 拓弥
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	—	—
	血液内科	新患 再来	近藤 誠司 佐野 通菜	佐野 通菜 権藤 久司/久富 崇	久富 崇 近藤 誠司	近藤 誠司 久富 崇/修補後追加の外来(午後)	*久富 崇(第1・3・5金曜)/ *佐野 通菜(第2・4金曜)
		腎臓内科	松本 圭一郎	中村 恵	—	松本 圭一郎	中村 恵
	糖尿病代謝内科	吉村 達	吉村 達/江頭 絵里奈	江頭 絵里奈	吉村 達/江頭 絵里奈	—	—
	腫瘍内科	コンサルト(予約制) 再来	嬉野 紀夫 嬉野 紀夫	—	嬉野 紀夫	—	嬉野 紀夫 嬉野 紀夫
		感染症(予約・紹介)	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ (14:00～16:00)	—	—	(第1・第3 金曜日) (毎週 金曜日)	—	—	多田 芳史 小野 伸之
	消化管内視鏡 (責任者)	緒方 伸一	中下 俊哉	—	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一
	気管支鏡	加藤 剛	—	—	小宮 奈津子	久保田 未央	—
	腹部エコー	大座 紀子 古賀 風太	*大座 紀子/ *村山 賢一郎 (*隔週で交代)	—	古賀 風太 村山 賢一郎	中下 俊哉	中下 俊哉 大座 紀子
	透 析	中村 恵	松本 圭一郎	中村 恵・松本 圭一郎	中村 恵	松本 圭一郎	松本 圭一郎
	小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	—	神経外来(当館医師) 内分泌外来	循環器外来	—	血液外来
		午 後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診 予防接種	神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師 第2・4) 内分泌外来/予防接種	循環器外来 予防接種	1ヶ月健診	アレルギー外来 心身症外来 血液外来
	循環器内科	午 前	江島 健一 中城 総一	吉田 敬規 中村 郁子	吉田 敬規 柿野 貴盛	江島 健一 中城 総一	柿野 貴盛 中村 郁子/三上 剛
		不整脈外来 (完全予約制、新患は水曜のみ)	本田 修浩 担当医	—	不整脈外来(新患) 担当医	—	本田 修浩 担当医
		ペースメーカー外来(午前・予約制)	—	—	—	—	—
精 神 科	午 後	検査	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	検査	
	午 前(完全予約制) 再診 月～金 8:30～12:00 初診 月～金 12:00～13:00	石井 博修 角南 隆史	角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	石井 博修 角南 隆史	
放射線科	放射線診断 ・IVR	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内 科	午 前	新患/再来	高島 洋	高島 洋	上床 希久	高島 洋	
	午 後 (14:00～16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置	回 診	予約制 もの忘れ外来 高島 洋	回 診	検査・処置	
脳血管内科	午 前	上床 武史	杉森 宏	大屋 祐一郎	上床 武史/橋本 剛	杉森 宏	
緩和ケア科	午 前(再診) 午後(新患)	完全予約制	—	小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子	—	—	
禁煙外来	午 後	完全予約制	—	久保田 未央/小宮 奈津子(14:30～16:30)	担当医	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	
外 科	消化器外科	新患	田中 聡也	平木 将紹	山地 康太郎	池田 貯	中村 聡也/佐藤 清治
		再来	田中 聡也	平木 将紹/山田 浩平	池田 貯/佐藤 清治	山地 康太郎	田中 聡也/佐藤 清治
	肝胆膵外科	新患	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	中村 覚庸	北原 賢二
		再来	—	—	—	—	—
	乳腺外科	—	—	手術	白羽根 健吾/服部 正見	手術	白羽根 健吾/服部 正見
	呼吸器外科	新患	—	—	—	—	—
再来		手術	—	手術	—	手術	
小児外科	新患	村守 克己	—	—	—	—	
	再来	福田 篤久	手術	当番医	—	手術	
眼 科	午 前	手術	手術	手術	手術	手術	
	午 後	検査	検査	検査	検査	検査	
産婦人科	午 前	婦人科 産科	金井 督之/八並 直子 室 雅巳/神下 優	安永 牧生/大隈 香奈 室 雅巳/神下 優	—	安永 牧生/神下 優 大隈 香奈/金井 督之	
	午 後 (14:00～16:00)	婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	手術日(急患のみ担当者) 室 雅巳	金井 督之 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	室 雅巳 八並 直子	
耳 鼻 いんこう科	午 前	—	宮崎 純二/宮崎 俊一 川崎 佳奈子	—	宮崎 純二/宮崎 俊一 川崎 佳奈子	宮崎 純二/宮崎 俊一 川崎 佳奈子	
	午 後	—	回診・検査	—	回診・検査	回診・検査	
泌尿器科	午 前	徳田 倫章/諸隈 太 辻田 次郎/山下 拓也	徳田 倫章/諸隈 太 山下 拓也/宮崎 真優	—	徳田 倫章/諸隈 太 辻田 次郎/山下 拓也	—	
	専門外来	腎移植	腎移植	—	腎移植	—	
歯科口腔 外科	午前・午後	完全予約制	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	野口 信宏 諸隈 文秀	
形成外科	午 前	原田 慶美	—	—	—	—	
皮膚科	—	—	—	—	—	—	
整形外科	一般整形	前 隆男/塚本 伸章 岡 和一郎/木田 麗真	—	—	前 隆男/小宮 紀宏 松尾 拓/馬場 覚	塚本 伸章/小宮 紀宏 岡 和一郎 馬場 覚	
	脊椎	加藤 剛	—	—	加藤 剛	—	
脳神経 外 科	午 前	松本 健一	坂田 修治	坂田 修治	—	—	
	午後 専門外来	予約のみ	(水頭症外来)坂田 修治	—	(脳動脈瘤外来)松本 健一	手術 (脳血管内治療外来)溝上 泰一朗	
心臓血管 外 科	午 前	—	内藤 光三 里 学	—	*内藤 光三(第1・3・5週) *川崎 裕鴻(第2・4週)/里 学	—	
	午 後	手術	回診	手術	回診	手術	
人 間 ドック	—	林田 潔	井之口 香映子	権藤 久司	権藤 久司	井之口 香映子	
	脳ドック	高島 洋	坂田 修治	杉森 宏	上床 武史	高島 洋	
心臓ドック	—	—	—	—	江島 健一	—	
看護専門外来	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	